

第36回 山形県ジュニア選抜大会 審判・監督会議資料

1. 遵守事項

(1) 共通事項

- ①競技規定については実施要項のとおりとする。
- ②審判・監督会議は事前に本書面の配布のみにより実施する。当日は審判・監督の出欠確認と連絡事項の説明のみ行う。(時間等は要項記載)
- ③監督は監督会議の際に棄権する選手を報告すること(時間等は要項記載)。
- ④ゴミは各自お持ち帰りください。(会場内にゴミ箱はありません)

(2) 審判員

- ①通常通り笛を使用する。
- ②競技中、指定された席を必要以上に離れないこと。
- ③審判シューズは土足厳禁とする。

(3) 選手

- ①選手は会場内で道着着用のこと。
- ②組手競技においてメンフォー用口元シールドが外れた場合は、直ちに主審が「止め」をかけるので付け直すこと。※マウスシールド装着は任意
- ③赤帯青帯の貸し出しは行わない。
- ④試合前後はきちんと礼をし、出迎え、送り出し等はしないこと。また、雄たけびや派手なりアクション、宗教的な表現は慎むこと。

(4) 監督 IDカードを貸与するので見える位置へ表示すること。

- ①監督はあらかじめ届出があった者(4名以内)とし、以下の通り監督人数を制限する。

参加実数 1～7 名	監督 1 名
参加実数 8～14 名	監督 2 名以内
参加実数 15～21 名	監督 3 名以内
参加実数 22 名以上	監督 4 名以内

※参加実数とは選手数である。(同一選手が形・組手に出場しても1名)

※役員・審判員と兼ねることはできない。(未成年者は認めない)

※大会当日朝に体育館及び観覧席の使用方法和一般入場者の管理方法の説明とプログラム及びIDカード等の配布を行うので各団体代表監督(1名)は「代表監督説明会」へ出席すること。(時間と場所は要項に記載)

なお、「代表監督説明会」に出席しない団体にはプログラム及び入場に必要ないDカード等を配布しないので必ず出席すること。

※監督変更は各団体でIDカードを受け渡し交代すること。退場時はIDカードを返却すること。

- ②監督席では、審判員と同じ姿勢で着席し大声での過度な発声を禁止する。もし2回主審に注意された場合は、その試合のみ退場となる。競技運営の支障になるような行為をしないように所属長は責任をもって監督を指導すること。
- ③監督は空手着を着用しなくてもよいが、監督としてふさわしい服装をすること。また、

県連指定の腕章を装着しＩＤカードをみえるところへ掲示すること。

- ④会場へ入場する監督の人数は選手数を超えてはならない。

例）選手１名入場しているなら監督も１名。

選手１人に四方からの４人監督等は禁止。

- ⑤監督は大会が円滑に進行するよう、所属団体の選手に取決め事項やマナー等を遵守するよう指導・管理すること。

2. 競技について（実施要項記載以外）

（１）形競技

- ①得意形以外は全て２人制で行う。
- ②２人制では時間短縮のため斜め入りとし、コートのコーナー部からの入退場時の礼は行わない。反則ではないが遅延につながるため、各コートで礼をしないように促す。
- ③インターバルについては要項を確認すること。

（２）組手競技について

- ①１０カウントルールは採用しない。
- ②メンフォー用口元シールドを装着は任意とする。
- ③インターバルについては要項を確認すること。
- ④防具等の不備があった場合は競技規定に則り規定違反とし、監督はその試合のみ監督席に就くことはできない。
- ⑤【競技終了時に同点で先取のない場合】
一本での得点の多いほうが勝ち→技ありでの得点が多いほうが勝ち
【それでも同点の場合】
判定により決する

（３）審判員実施事項

- ①組手競技において、マウスシールドが外れた場合は直ちに主審が「止め」をかけ、付け直させてから再開すること。
- ②審判員は同じ団体に所属する選手の審判はできない。但し、審判員に不足が生じ場合は、審判長又はコート主任の判断により、審判団に編成することがある。

3. 質疑について

- （１）大会当日は審判会議、監督会議を実施しないため、上記の内容について質疑が生じた場合は、別紙「質疑申込書」に質疑内容を記載し、担当者へメールで送付すること。後日、必要があれば全ての団体へ質疑内容とその回答を通達する。

（２）質疑申込書の提出について

【期 限】 令和７年１１月７日（金）期限厳守

【提出先】 s.yanack@poppy.ocn.ne.jp 梁瀬伸祐

メールには件名、連絡先や団体名を書いて送信し、２～３日たっても連絡のない場合はメールアドレスと件名や問い合わせの内容を確認して再度送信すること。